

全国小学生バレーボール指導者スキルアップ講習会 実施要項（案） （全国講習会更新義務研修）

1. 目的 小学生に正しくバレーボールを指導するための指導方法について研修し、指導者の資質の向上を図るとともに、指導のリーダーとなる人材を育成する。尚、この更新講習会は全国小学生バレーボール指導者講習会の一次・二次講習会受講者（日体協資格取得者を除く）を対象に実施し、継続的な資質向上を図る。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会
日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
開催県小学生バレーボール連盟
4. 後援 開催県バレーボール協会
5. 協力 開催県・市区町村教育委員会、開催県・市区町村体育協会、報道機関
6. 開催期日 全国 1～2会場（試行実施）
及び開催地
7. 受講対象者 全国小学生バレーボール指導者一次・二次講習会受講者
8. 講習内容 時間数：3時間
①小学生バレーボールの指導者の理念（0.5h）
②指導力向上プログラムについて（2.5h）
[主なプログラム] ※日小連/開催地と協議の上決定
・アンガーマネージメントプログラム
・コミュニケーションスキルトレーニング
・コーディネーショントレーニング他
9. 講師 公益財団法人日本バレーボール協会公認講師
公益財団法人日本バレーボール協会役員
公益財団法人日本体育協会バレーボールコーチ・上級コーチ
日本小学生バレーボール連盟役員
その他有識者・専門機関
（つくば言語技術教育研究所・日本アンガーマネージメント協会・その他）

10. 参加料 受講料として2,000円(予定)徴収する。

11. 参加申込み 開催地の要項に従って申し込みを行う。

12. その他 ①全課程を修了したものには、受講証明書を発行し、全国小学生バレーボール指導者受講者資格の更新に必要な「義務研修」終了が認められる。

②開催地には運営費を補助する。

③講師派遣に関わる一切の経費は主催者が持つ。

④指導者資格について

1) 全日本バレーボール小学生大会のブロック・地区予選会においては、日本小学生バレーボール連盟初級指導者(※1)以上(同中級指導者(※2)・日体協資格も可)が最低一人はベンチに入っていないなければならない。

2) 都道府県最終予選会においては、日本小学生バレーボール連盟認定中級指導者(※2)以上(日体協資格も可)が最低一人はベンチに入っていないなければならない。

3) 全日本バレーボール小学生大会の全国大会においては、公益財団法人日本体育協会認定バレーボールの指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチのいずれかの資格取得者がベンチ入りしなければならない。

※1 初級指導者(全国小学生バレーボール指導者一次講習会修了者)

※2 中級指導者(全国小学生バレーボール指導者二次講習会修了者)

尚、この日小連認定初級・中級指導者は有効期限を有し、更新本格実施の平成29年度より4年間に一度更新講習(スキルアップ講習会等)を受講しなければならない。但し、試行実施として行う28年度開催分についても、更新は有効とする。

13. 開催申請

○開催地は事前に開催計画書及び予算書を提出する。

○開催地は、開催地責任者会議にて配布及び周知された「開催マニュアル」をもとに準備・運営を進める。

○開催地は講習会終了後、すみやかに所定の提出物とともに報告書を提出する。

○事業担当者

日本小学生バレーボール連盟・指導普及委員会